

# 熊と

## 向き合おう

クマと自分を守ろう



クマの生息地である山林に立ち入る機会が多くなる時期になりました。クマと共存していくためにはお互いを理解する必要があります。

### 生息地は山林

クマが暮らしている山林へ立ち入り、突発的にクマと出会う機会が増えてくる時期になりました。

クマは基本的に人を避ける動物と言われていますが、突発的に人に出会うと自らを守るために攻撃をする場合があります。

これからの季節、山菜採りでクマの生息地へ立ち入る場合はクマと人の共存が必要になってきます。

### 住宅地に出没

去年、矢巾町内で、住宅地にクマが3回出没しました。家の塀を乗り越えて敷地内に侵入してくるケースもありました。

これは、山林と農地を区別するための空間がないので、クマが自分の生息地と人里を区別できなくなっているためです。このことにより、住宅地での出没につながっていると考えられます。

### 出没増加が予想されます

今年、平成27年の冬に多く産まれた子グマが親離れせずにいるため、親子グマの出没は引き続き多いと考えられます。子連れの母グマは特に攻撃的になるので、山林やその周囲に立ち入るときは、十分に注意してください。

また、夏の時期はオスがメスを求めて行動圏が広がるため、普段生息しない地域に出没する可能性があります。予期せぬところでクマと出会ってしまったときに備え、必要な情報を集めておきましょう。



## 1 自分の存在を知らせる

クマ鈴やラジオなど音の出るものを携帯する。

見通しの悪い場所は、声を出したり手をたたいたりして存在を知らせる。



## 2 クマの新しい痕跡（糞、食痕、爪痕など）があったら十分に気を付ける。



ツキノワグマの糞  
食べ物によって、また体調によって形や色が変わります。)

クマと  
出会わない  
ために

## 3 春と秋は行動が活発になるので特に注意する

単独ではなく、複数で行動する。  
食べ残しは放置せず密封して持ち帰る。  
撃退グッズを活用する。

もし、クマに  
出会ってしまったら…  
落ち着いて  
次の行動をしましょう

### 1 クマとの距離が離れている (クマがこちらに気づいていない)

ゆっくりと静かに立ち去る。

### 2 比較的距離が近いとき (50m程度)

両腕を振りこちらの存在を知らせ、クマから目を離さずにゆっくりと後退する。森林内であれば突進に備えてクマとの間に障害物がくるようにする。

### 3 距離が近いとき (20m)

走ったり大声を出さずにクマから目を離さず、ゆっくりと静かに後退する。

### 4 クマが突進してきたとき

威嚇突進の場合は、途中で止まり後退することが多いので、落ち着いてゆっくりと後退する。

攻撃してきた場合は、クマスプレーを目や鼻をめがけて噴射する。クマスプレーがないときは、うつ伏せになって顔と腹部を守り、首の後ろは手を回して保護する防御姿勢をとる。



クマを見かけたり、痕跡があった場合は、速やかに役場へ連絡をお願いします。

【問い合わせ】 役場産業振興課農林係 (☎ 611-2614)